

PX-one

[ペダルエクササイザー]

Yuki Trading

取扱説明書



PX09030Y/イエロー
PX09030G/グリーン
PX09030B/ブルー
PX09030P/ピンク

このたびは、弊社ペダルエクササイザー[PX one]をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

本商品ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解いただいた上でご使用下さい。

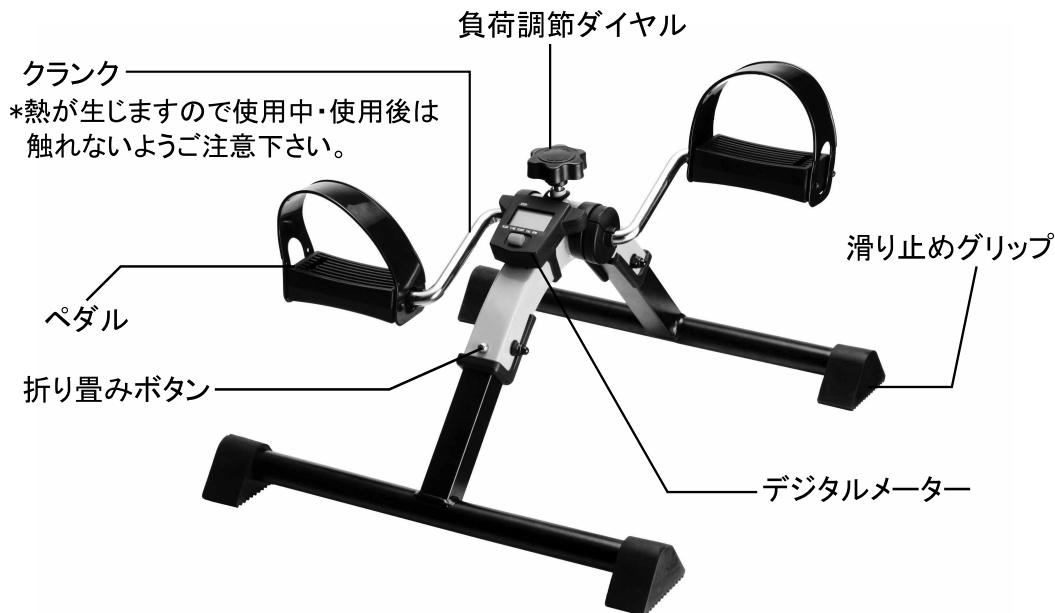
また、お読みになった後いつでも見られるようにお手元に大切に保管して下さい。

- 本製品は低負荷で行う家庭用エクササイズ機器です。
- 本製品の連続使用時間は15分です。
- クランク部分に熱が生じますので触れないように注意して下さい。

[各部の名称]

PX-one

[ペダルエクササイザー]



●本体およびメーターのデザインは改良のために変更される場合があります。ご了承下さい。

[仕様諸元]

品名 ペダルエクササイザー [PX one (ピーエックスワン)]

品番 PX09030Y イエロー PX09030B ブルー
PX09030G グリーン PX09030P ピンク

スペック 使用時サイズ:全高240mm 全幅390mm 奥行420mm
折畳みサイズ:全高160mm 全幅390mm 奥行き270mm
重量:2.1kg
生産国:台湾

材質 本体:スチール メーター:ABS

制限 連続使用時間:15分 体重制限:90kg

[使用上の警告・注意]



警告事項

- 1・本製品は日本国内でのみご使用下さい。
- 2・医師が不相当と認めた方はご使用を避けて下さい。
- 3・以下に該当する方は医師によく相談の上でご使用下さい。
 - 心臓に障害のある方
 - 骨粗しょう症など骨に異常のある方
 - 妊娠している、または妊娠の疑いがある方
 - 知覚障害のある方
 - 医師の治療を受けている方や身体に異常を感じている方
 - ペースメーカー等の体内植込型医用電気機器をご使用の方
 - 呼吸器障害をお持ちの方
 - 高血圧の方
 - 悪性腫瘍のある方
 - 内臓疾患など急性症状のある方
 - 事故や疾病により背骨に異常のある方
 - リウマチ・通風・変形性関節炎等の方
 - 椎間板ヘルニア、脊椎すべり症、脊椎分離症など腰痛のある方
 - 手、首、腰、脚にしびれのある方
 - 静脈瘤など血行障害や血栓症等のある方
 - リハビリ目的で使用される方
 - 血行障害・血管障害など循環器に障害をお持ちの方



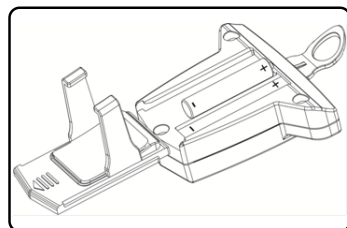
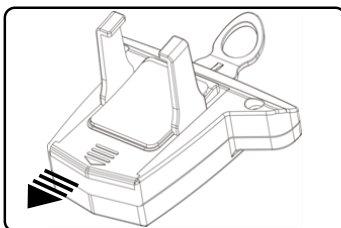
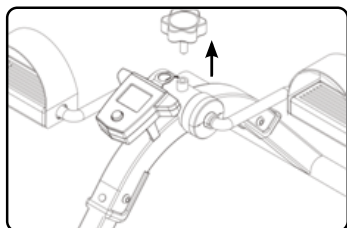
警告事項

- 4・本製品は体重90kg以下の人の使用を想定して製造されています。必要以上に体重をかけたり立った状態でのご使用はお止めください。機器が破損し重大な事故を起こす恐れがあります。
- 5・本製品は連続使用によりクランク部に熱が生じます。1分間に60回転を超える使用や15分以上の連続使用はお止め下さい。また、使用中・使用後はクランク部に摩擦による熱が生じますので触れないようご注意下さい。
- 6・本製品は家庭内での簡易的なエクササイズを想定しております。強い負荷をかけた運動や学校・スポーツジム等、不特定多数の利用者によって使用されるものではありません。
- 7・本製品の連続使用耐久時間は15分です。15分以上の連続使用はお止め下さい。また、故障の原因となりますのでご使用の間隔は1時間以上あけて下さい。
- 8・小さなお子様だけのご使用はお止め下さい。
- 9・使用時や折りたたみ時に、すきまや可動部に手・指などを挟まれないように十分ご注意下さい。
- 10・水平な床の上でご使用下さい。また、滑り止め床面保護のためにマットなどをご使用下さい。(本製品にマットは付属されておりません)特に畳の上ではマットなしでのご使用を避けて下さい。
- 11・火気の近くや高温多湿の場所、直射日光のあたる場所には置かないで下さい。

電池の交換方法

- * [PXone]のメーターは、単四乾電池1本を使用します。
- * +と-を正しく入れて下さい。間違えると故障する恐れがあります。
- * 最初から付いている電池はテスト用につき容量が少なくなっております。ご使用の際には新しい電池を取り付けて下さい。

- ①調整ダイヤルを抜き、メーターを外して下さい。
- ②メーター裏の電池カバーを矢印
- ③カバーを外したら、+と-をの方向にスライドし、外して下さい。間違えないように取り付けます。

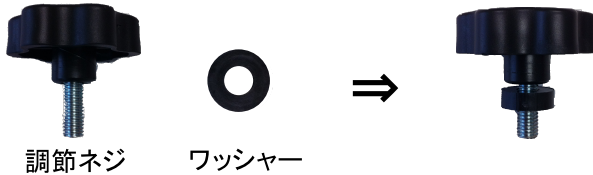


負荷の微調節について

本製品は手軽にペダル運動を楽しんでいただく為の家庭用健康器具です。
高負荷トレーニングによる筋肥大を想定したものではありません。
下記をよくお読みいただき、安全にご使用ください。

● 負荷調節ネジの取り付け

付属の負荷調節ネジにワッシャーを取り付け、本体上部のネジ穴に差し込み、回してください。



負荷調節は付属のワッシャーを取り付けた上で行って下さい。
ワッシャーを外した状態で強い負荷調整を行うと、運動中に本体が動いたり、
摩擦による熱が大きくなり危険です。

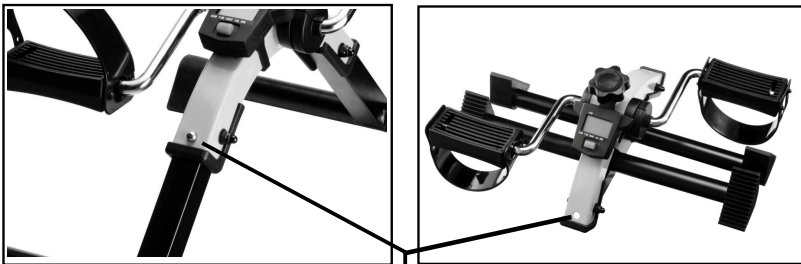
● 負荷の微調節方法

調節ダイヤルをまわしていただくと負荷を微調節できます。



* 負荷は右に回すと強くなります。

折りたたみ方法について



折り畳みボタン

本体前後の折り畳みボタンを押しながら開閉して下さい。
また、開閉の際には手や指を挟まないように十分に注意して下さい。

運動方法について



[椅子に座ってバイク運動]



[横になってバイク運動]



[テーブルに置いて上半身の運動]

畳の上でご使用される場合は、畳の保護のためにマット等を敷いて下さい。
本体が動いてしまう場合は、滑り止めのマット等を使用するか、本体を壁などに当ててご使用ください。

メーターの表示内容について

- メーターはオートON/OFFです。ペダルを回すと、電源がONになります。
- 電池の消耗を防ぐため、運動を停止してから約3分半後にOFFになり、表示は消えます。
★表示が消えると、それまでの運動内容もリセットされますのでご注意ください。



- ・押すとONになります。OFFは自動です。
- ・使用中に押すと表示項目が切替わります。
- ・長押しすると表示がリセットされます。

■メーターのデザインは、改良のために予告なしに変更される場合があります。

保証規定

この度は本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
品質には万全を期しておりますが、通常の使用において万一故障が発生しました
場合は下記の規定により修理保証させていただきます。

- ①保障期間はお買い上げ後1年間です。
- ②保障期間中に品質の不完全による故障が生じた場合には、
無料にて修理いたします。
- ③ただし、以下の場合は保障期間中でも本保証は適用されません。
 - a.説明書の内容以外の操作や取扱上の不注意
 - b.製品に改造を加えた場合の故障
 - c.天災・地変等による故障、損傷
 - d.本体ではなく消耗部品
 - e.お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障
 - f.保証書に販売店名、購入日等所定の記載が無き場合
 - g.保存上の不備
- ④以上の保証は本製品を日本国内で使用した場合に限ります。

お問い合わせ先

株式会社ユーキ・トレーディング
〒110-0008 東京都台東区池之端2-5-46
TEL 03-3821-7331 / FAX 03-3821-7552
MAIL info@yukitrading.com
URL <http://www.yukitrading.com/>

Yuki Trading

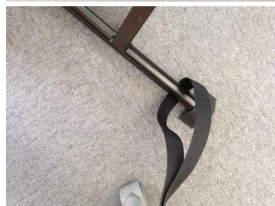
付属ストラップ について

●このストラップを椅子と本機に通す事により、使用中の本体のズレを防ぎ、事務用椅子などキャスター付きの椅子でも安全にご利用いただけるようになります。

● ご使用方法 ●



このバックルで長さを調整してください。



① 椅子と本機の距離に合わせて長さを調整し一方を手前のバーにかける。



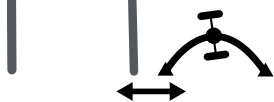
② ストラップを椅子の脚の後ろに通す。



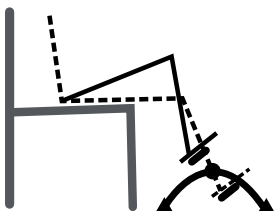
③ ストラップのもう一方を本機手前のバーにかける。

●また、下記を目安としてご自分に適した運動位置を確認し、その位置に合わせてストラップを調整する事で、常に一定の位置で効果的に運動を行うことができます。

本体が **近い**



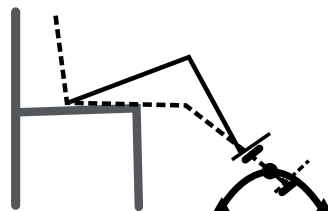
■膝への負担を抑えた運動ができます。
(膝関節の可動範囲が小さくなります。)



本体が **遠い**



■左図と比較して運動強度があがります。
(膝関節の可動範囲が大きくなります。)



* 適切な位置は体格や椅子の形状により変わります。

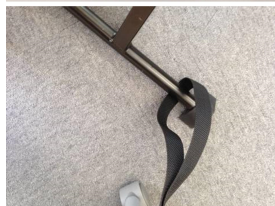
付属ストラップ について

●このストラップを椅子と本機に通す事により、使用中の本体のズレを防ぎ、事務用椅子などキャスター付きの椅子でも安全にご利用いただけるようになります。

● ご使用方法 ●



このバックルで長さを調整してください。



① 椅子と本機の距離に合わせて長さを調整し一方を手前のバーにかける。



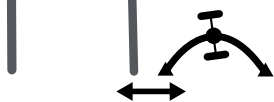
② ストラップを椅子の脚の後ろに通す。



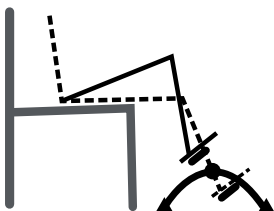
③ ストラップのもう一方を本機手前のバーにかける。

●また、下記を目安としてご自分に適した運動位置を確認し、その位置に合わせてストラップを調整する事で、常に一定の位置で効果的に運動を行うことができます。

本体が **近い**



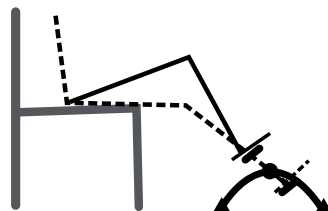
■膝への負担を抑えた運動ができます。
(膝関節の可動範囲が小さくなります。)



本体が **遠い**



■左図と比較して運動強度があがります。
(膝関節の可動範囲が大きくなります。)



* 適切な位置は体格や椅子の形状により変わります。